

# 経済・金融 フラッシュ

## 米 12 月 ISM 指数は、製造業・ 非製造業とも上昇

経済調査部門 主任研究員 土肥原 晋

TEL:03-3512-1835 E-mail: doihara@nli-research.co.jp

米景気回復の加速が観測される中、12月ISM指数は、製造業PMIが57.0と前月比0.4ポイント上昇、非製造業NMIが57.1と同2.1ポイント上昇した。これにより、製造業指数では景況感の分かれ目となる50を17ヵ月連続で、非製造業では12ヵ月連続で維持したこととなる。

なお、製造業の内訳では、生産・新規受注指数の上昇がPMIを押し上げ、非製造業では事業活動・新規受注指数が大幅に上昇するなど、いずれも主要指数の貢献が大きかった。

### 1、製造業指数は57.0と7ヵ月ぶりの水準、非製造業指数は57.1の高水準に上昇

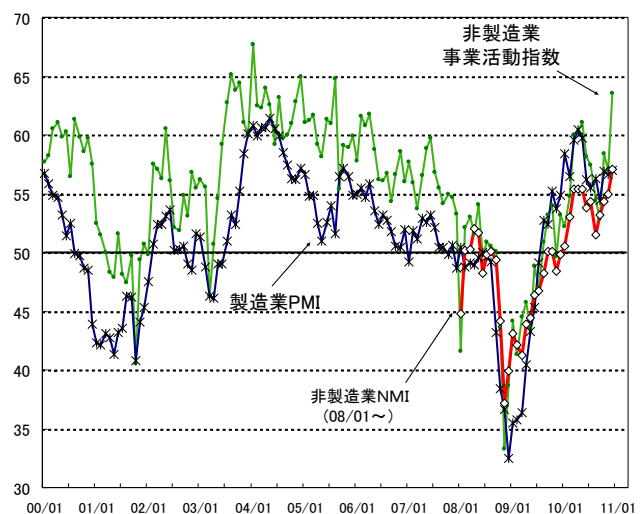
企業のセンチメントを示すISM(米供給管理協会)指数は、12月製造業指数(PMI)が57.0と7ヵ月ぶりの水準に上昇し、市場予想(57.0)に一致した。前月(56.6)比では0.4ポイントの上昇となる。

PMIは、金融危機後の2008年12月に32.5と近年の最低水準を記録した後、2009年8月には製造業の拡大・縮小の分かれ目となる50を回復、今回で50越えは17ヵ月連続となる。なお、12月のPMIを除く10指数の動きを見ると、4指数が上昇、6指数が下落、最高値は価格指数の72.5、最低値は顧客在庫の40.0だった。

発表元のISMでは、過去のデータから見たPMIが示す経済全体の分かれ目(GDPのゼロ成長)は42.0であり、12月PMIは実質GDPの年率5%に対応する水準としている。

一方、10月非製造業指数(NMI:注)は57.1となり、前月(55.0)、市場予想(55.7)を大きく上回った。また、2010年1月以降、12ヵ月連続で非製造業の業況の分かれ目となる50を上回った。NMIは2008年1月より非製造業指数の総合指数として発表開始、金融危機直後の2008年11月に37.2へと急低下を見せた後の回復となるが、12月水準は、試算値ベースでは2006年5

(図表1) ISM指数の推移(月別)



(資料) Institute for Supply Management、以下も同じ。

注：短期的な動きについては(図表5)を参照ください。

月（57.2）以来の高水準となる。

I S M両指数（PMI とNMI）の水準を比較すると、2009年7月以降はPMIがNMIを上回っていたものの、今回の急伸でNMIが追い抜きほぼ同水準に並んだ形となった。非製造業指数には住宅バブル崩壊や金融危機等の影響が大きい金融、不動産・建設、個人消費関連産業等が含まれるため、製造業指数の回復が先行していた。住宅関連産業等ではなお不振が続いているものの、非製造業全般では製造業に追いついてきたことが示唆された形となっている。

（注：NMI(=Non-Manufacturing Index) は、2008年1月より非製造業指数の総合指数として発表開始。事業活動、新規受注、雇用、入荷遅延の各指数の均等ウェイトで構成される。）

### （各指数別内訳の動向）

## 2、製造業各指数では、生産・新規受注等の主要指数が大幅上昇

PMIの構成5指数（新規受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫）の動きを見ると、生産指数が60.7と前月比5.7ポイント、新規受注が60.9と同4.3ポイントとそれぞれ大幅な上昇となったことが注目される。半面、在庫指数が51.8となり、前月比▲4.9ポイントと低下が大きく、雇用指数は55.7と同▲1.8ポイント下落、入荷遅延は55.9と同▲1.3ポイントの下落となった。

生産・新規受注指数が揃って急上昇した半面、在庫が低下しており、今後の製造業の事業活動には、好ましい方向への変化と言え、ギリシャ・ショックからの立ち直りを見せている製造業の回復方向への動きが、強められた形と言えよう。

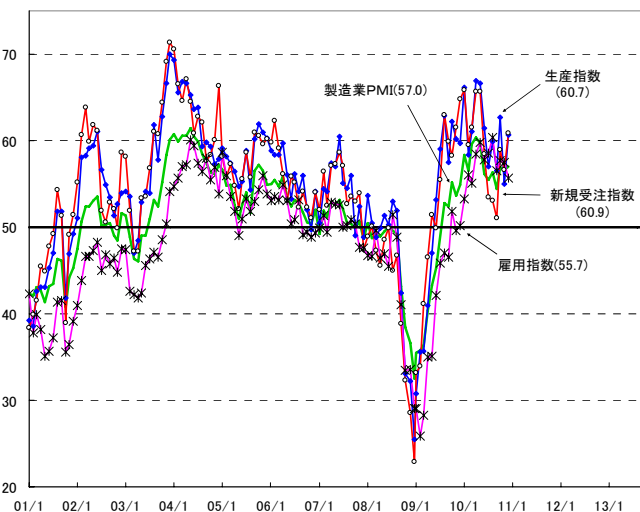
なお、上記の主要5指数以外では、価格指数が3.0ポイント上昇して72.5と、各指数のうち最高値となった一方、顧客在庫が▲5.5ポイントと前月比では最大の下落幅を見せ、40.0と各指数の最低値となった。また、輸出入両指数とも前月比▲2.5ポイントの下落となったが、輸出指数が54.5、輸入指数が50.5と、いずれも50を上回る水準を維持した。

## 3、非製造業各指数では、事業活動・新規受注指数が大幅上昇

12月非製造業各指数の前月比の動きを見ると、総合指数（NMI）を構成する主要4指数（事業活動、新規受注、雇用、入荷遅延）では、事業活動指数が6.5ポイント、新規受注指数が5.3ポイントと急伸、半面、雇用指数が▲2.2ポイント、入荷遅延指数が▲1.0ポイントと下落を見せたため、NMIの上昇は2.1ポイントに留まったが、上記のように試算値ベースでは2006年5月（57.2）以来の高水準を回復した。

上記の中でも事業活動指数は63.5へと大幅な上昇を見せ、2005年8月（64.8）以来ほぼ5年

（図表2）ISM製造業主要指数の推移（月別）



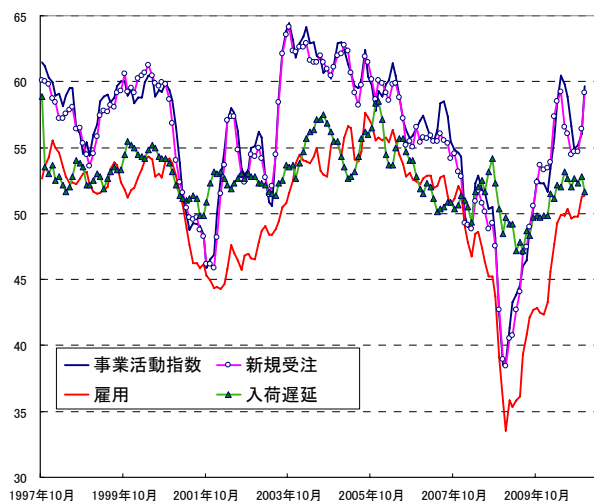
注：（ ）内の数値は2010年12月値

半ぶりの高水準を回復した。事業活動指数は昨年のギリシャ・ショック以降9月の52.8まで4ヵ月連続で下降したが、その後の改善が目覚しい。また、新規受注指数も63.0へと急伸、2005年8月(64.6)以来の高水準を回復した。半面、雇用指数は、50.5と▲2.2ポイントの低下ながら、50台を4ヵ月連続で維持した。

その他の指数では、価格指数が6.8ポイント上昇して70.0となり、非製造業の全指数中最大の上昇幅となり最高値を記録したのを除くと概ね低下した指数が多かった。受注残指数が同▲3.0ポイント低下して48.5となり、新規輸出受注指数が56.0、輸入指数が51.0といずれも前月比▲3.5ポイントの低下となった。

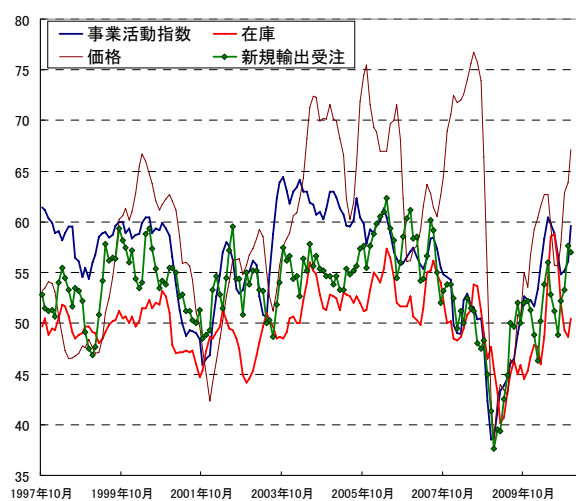
上記のように12月非製造業指数の上昇は、事業活動指数と新規受注指数の急上昇によるところが大きかったが、主要な指数の上昇だけに今後の推移が注目される。

(図表3) ISM非製造業各指数の推移(その1)



注：3ヵ月移動平均

(図表4) ISM非製造業各指数の推移(その2)



注：3ヵ月移動平均

(図表5) I S M指数：製造業と非製造業各指数の一覧

製造業指数																
	10月	11月	12月	10年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	11→12月 変化幅
P M I	55.2	53.7	54.9	58.4	56.5	59.6	60.4	59.7	56.2	55.5	56.3	54.4	56.9	56.6	57.0	0.4
新規受注	58.3	61.5	64.8	65.9	59.5	61.5	65.7	65.7	58.5	53.5	53.1	51.1	58.9	56.6	60.9	4.3
生産	62.2	60.2	59.7	66.2	58.4	61.1	66.9	66.6	61.4	57.0	59.9	56.5	62.7	55.0	60.7	5.7
雇用	51.8	49.6	50.2	53.3	56.1	55.1	58.5	59.8	57.8	58.6	60.4	56.5	57.7	57.5	55.7	▲ 1.8
入荷遅延	56.3	55.7	56.8	60.1	61.1	64.9	61.3	61.0	57.3	58.3	56.6	52.3	51.2	57.2	55.9	▲ 1.3
在庫	47.3	41.4	43.0	46.5	47.3	55.3	49.4	45.6	45.8	50.2	51.4	55.6	53.9	56.7	51.8	▲ 4.9
顧客在庫	38.5	37.0	35.0	32.0	37.0	39.0	33.0	32.0	38.0	39.0	43.5	42.5	44.0	45.5	40.0	▲ 5.5
価格	65.0	55.0	61.5	70.0	67.0	75.0	78.0	77.5	57.0	57.5	61.5	70.5	71.0	69.5	72.5	3.0
受注残高	53.5	52.0	50.0	56.0	61.0	58.0	57.5	59.5	57.0	54.5	51.5	46.5	46.0	46.0	47.0	1.0
新規輸出受注	55.5	56.0	54.5	58.5	56.5	61.5	61.0	62.0	56.0	56.5	55.5	54.5	60.5	57.0	54.5	▲ 2.5
輸入	51.0	51.5	55.0	56.5	56.0	57.0	58.0	56.5	56.5	52.5	56.5	56.5	51.5	53.0	50.5	▲ 2.5
非製造業指数																
N M I	50.1	48.4	49.8	50.5	53.0	55.4	55.4	55.4	53.8	54.3	51.5	53.2	54.3	55.0	57.1	2.1
事業活動	54.0	49.6	53.2	52.2	54.8	60.0	60.3	61.1	58.1	57.4	54.4	52.8	58.4	57.0	63.5	6.5
新規受注	54.2	53.7	52.0	54.7	55.0	62.3	58.2	57.1	54.4	56.7	52.4	54.9	56.7	57.7	63.0	5.3
雇用	41.7	41.7	43.6	44.6	48.6	49.8	49.5	50.4	49.7	50.9	48.2	50.2	50.9	52.7	50.5	▲ 2.2
入荷遅延	50.5	48.5	50.5	50.5	53.5	49.5	53.5	53.0	53.0	52.0	51.0	55.0	51.0	52.5	51.5	▲ 1.0
在庫	43.0	45.5	51.5	46.5	45.0	46.5	54.5	62.5	58.5	55.5	53.5	47.0	47.5	51.5	52.5	1.0
価格	53.4	57.1	59.6	61.2	60.4	62.9	64.7	60.6	53.8	52.7	60.3	60.1	68.3	63.2	70.0	6.8
受注残高	53.5	48.5	48.0	45.5	46.0	55.5	49.5	56.0	55.5	52.0	50.5	48.0	52.0	51.5	48.5	▲ 3.0
新規輸出受注	53.5	54.5	46.0	46.0	47.0	57.5	57.0	53.5	48.0	52.0	46.5	58.0	55.5	59.5	56.0	▲ 3.5
輸入	46.0	46.0	52.5	47.0	48.5	51.0	56.5	56.5	48.0	48.0	50.5	53.0	54.0	54.5	51.0	▲ 3.5
在庫センチメント	63.5	61.5	61.0	64.5	60.0	52.5	53.5	60.5	59.0	59.0	60.0	59.5	61.5	60.0	61.5	1.5

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。